

2007年5月発行
 (平成19年5月)
 千葉県立匝瑳高等学校
 同窓会事務局
 〒289 2144 千葉県
 匝瑳市八日市場イ 1630
 TEL.0479 72 1541
 代表：根本勝弘

6月24日(日) 定例総会

そうだ！今年こそ匝高へ！！

呈茶席 9:00より 総会・講演 10:00より



卒業式
卒業生代表 答辞

本年度の定例総会は、6月24日(日)に開催される。例年どおり華道展示・呈茶席が彩りを添え、記念講演は

岡山大学教授 加瀬克雄(高15)が、資源地球科学の視点から、40億年の地球環境の変遷を概観し、それがどの

記念講演

「人間が生存できる地球環境はどのよう形成されたか」

岡山大学教授 加瀬克雄(高15)



入学式
校歌紹介

現在、岡山大学
 大学院自然科学研究科教授
 平17・4月から理学部長
 専門 資源地球科学
 (金属鉱物資源論)

ように推測されたかを話される予定である。また、国立大学法人の現状等にも触れられるという。
 身近かで親しみやすい同窓会を目指す執行部としては、多数の会員の出席を期待している。

【講師紹介】

加瀬克雄さん

昭38・3月

匝瑳高卒

昭42・3月

東京大学理学部

地学科卒

昭44・3月

東京大学理学系

大学院地質学鉱

物学専攻修士課

程修了

昭44・4月

岡山大学理学部

助手

講師・助教授を

経て

のびる母校 ひろがる同窓

<http://www.dosokai.ne.jp/sosako/>

支部・同期の集い

匝東会(東京支部)

匝東会では、平成十八年十一月十一日(土)「ふるさとを歩こう会」を開催しました。

当日は、本部同窓会根本会長、荒井前会長はじめ郷里の方々も参加、総勢四十一名が飯高檀林までの散歩を楽しみました。

出発に際し、朝早くから山崎前校長先生に参加者全員につき立てのお餅を提供して頂き、皆さんスタミナをつけて元気に母校を出発しました。

途中、飯高檀林到着寸前に豪雨に襲われましたが、近くにお住まいの高7回、渋谷正さんのご好意で全員渋谷さんの大きな倉庫に避難させて頂きました。

また、前会長の荒井淳一さん、高13回卒の宇野栄さん、三谷旭さんのご好意で、倉庫内で温かい甘酒、みかん等を頂き、濡れることなく飯高檀林まで到着することができました。

飯高檀林では、講堂にて同

窓生の皆さんが、おにぎり、弁当等を食べ、守る会の方の説明を聞き、昔の栄華を偲び楽しい一時を過ごすことが出来ました。



帰路は、匝瑳市役所ならびに荒井前会長に提供頂いたバスにて、ふれあいパークに立ち寄り地元農産物等のお土産を購入し、母校に戻りました。

母校では、宇井校長先生、志賀事務長先生にご案内を頂き、構内の見学、弓道場での他校との交流試合等を見学させて頂きました。

皆さん、久しぶりに青春時代を思い出し、楽しく過ごすことが出来ました。

あらためて、同窓生、郷里の方のご支援、ご親切に感謝した次第であります。

当日は、有志による夕食会を柿岡屋で開催し、三十五名の同窓生が参加し、高校時代の思い出等を語り合い親睦を深めました。

初めての試みでありましたが、多くの参加者の要望もありましたので、本年も同様の企画をしたいと考えております。

郷里の皆様には、多々お世話になること存じますが、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

藤井 治(高13)

京葉支部

三月十七日、千葉市内の京成ホテルで京葉支部総会が開催された。母校から三辻教頭岩瀬事務局長、本部から根本会長の出席のもと、竹蓋荘一郎さん(中6)を始め九十三名が出席した。

事業報告では第三回のゴルフ会(九十三名参加)と二回

目となる旅行会「保田

スイセンロ

ード」ハイ

キング(四

十八名参加)の実

加)の実施

が報告され

役員選任で

は副会長、

幹事等の一

部が改選さ

れた。

総会后恒

例となった

講演会は、

母校恩師の

安田侂先生

から「兼好

法師に学ぶ

人生 徒然

草から」の演題でユーモアたっぷりのお話をいただいた。

続いて懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で話が弾み最後に沢田寿子さん(高11)のリードで匝中・高の校歌を全員で斉唱し、盛会裏に終了した。

京葉支部事務局
足田 躬矩(高14)



水仙ロード散策

(十九年一月十一日)

恒例の京葉支部親睦旅行は、鋸南町保田の水仙畑を歩きまわした。当日は千葉駅から貸切バスに乗って、午前八時に出発、館山道を通るバスの中から真白き富士山が眩しく望め、快晴の素晴らしい天気でした。根本同窓会長、伊藤東京支部長、恩師の安田仇先生を迎え四十八名が参加、バスの中で挨拶から和気藹々でした。道の駅での小休止の後、県山岳会の植草会長の先導案内で、赤伏口から山道をゆっくりと歩き始め、道端に白く咲く水仙を見ながら頂上に到着、そして今度は下り道の両斜面の段々畑に満開に咲く緑の中の白い花は見事でした。途中の休憩所では一杯の甘酒が喉を潤してくれました。

大勢の観光客が行き交う中、約二時間の散策でした。昼食は温泉施設の保田漁港の「ばんや」で、地元で獲れた新鮮な魚料理を満喫し、水産物、水仙花束を土産に楽しかった旅も無事に千葉駅到着でした。(幹事13回生)

銚子会

三月二十七日(火)午後六時

から銚子プラザホテルにおいて定期総会を行う。

母校から岩瀬事務局長(高24)、須郷教諭(高30)、本部から根本会長(高14)の出席のもと、本年度の議事の決定をみた。会長には引き続き、江畑鎮男氏(高6)を選出。総会後、堺敬生氏(高2)の桜や北アルプスの美しい映像作品が上映された。フルートの演奏と美しい映像とのコラボレーションがすばらしかった。終了後懇親会が行われ、和やかな雰囲気でも弾み、盛会裡に終わることができた。

旭会一九会

正月の行事も一段落

した一月二十一日(日)正午から旭市内の旭楼で旭会一九会が開かれた。

喜寿の祝いと千葉県議会議員飯島重雄君の今期限りの引退が報じ



旭会(一九会)飯島県議を囲んで

られ、その慰労の会となった。会員二十二名中十一名が出席、先ず物故者十三名の冥福を祈って一分間の黙祷をする。その後飯島重雄君の挨拶、高木良章君の乾盃の首頭で宴会に入った。

飯島君の挨拶は、九期三十六年に及ぶ県議活動への支援のお礼、引退を決めた理由、若い人に後を託す思い、活動

の思い出や苦労話など家族への思いを織り交せて熱っぽいものだった。

宴会は高校時代の思い出話

が中心でそれぞれの現況や健康のこと、飯島君への慰労と感謝など気藹々のうちに三時間が経過した。

若い人顔負けの酒豪もいたが傘寿に再会することを誓って散会した。岩井幸治(高2)

高七 匝友会

通算100回に到達

ゴルフを趣味とする同級生が集まり匝友会と名乗って、昭和五十一年に第一回を新千葉カントリークラブで開催し、平成十八年十一月十日に第百回目を平川カントリークラブで開催した。(写真)過去には会員四十八人あまりでしたが、現在は三十二人になりました。皆さん古希を迎えても元気にゴルフを楽しんでいます。九十回に千葉日報の記事になり、ごらんになった方もいると思います。

足腰も弱り、カートの無いところでは悲鳴を上げる者もいますが、ティーショットを



二百ヤードも飛ばしながら皆、頑張っています。八十歳くらいまで続けたいと思っています。

仲間になってくださる方は左記にご連絡ください。

〒289 2143

匝瑳市八日市場口二四七番地

小久保 益次郎

☎〇四七九(七二)〇一五八

女性だけの茨城の旅

男性の人達が忙しくてなかなかクラス会がなかったので、女性だけでも集まりたいねと平成十一年三月二十七日G組（そごし）匝慈会（クラス会の名前）



女性部の集いを旭の「にわ」で二十一名中十八名参加で行いました。還暦には奈良・京都の旅をしました。十月九日から二泊三日で茨城にお住まいの杉山さんと島根さんが幹事で茨城の旅を行

い、十二名参加しました。一時半土浦駅集合です。遠くは奈良・仙台から来てくれました。マイクロバスに乗って出発です。匝高を卒業して四十数年過ぎているのにすぐに高校時代の顔になってしまいました。裕ちゃん、順子ちゃんとの頃の呼び名で。

岡倉天心、野口雨情の過ごした青い海の「五浦海岸」、全国で一番人気の国民宿舎「鶴の岬」、太平洋の広大な海が眼下に広がった素晴らしい景色でした。おいしいお食事、時の経つのも忘れてみんなで飲み歌いお喋りをしました。

長さ三百七十五米の「竜神大吊橋」、歩行者専用としては日本一です。「袋田の滝」は水量が多く迫力満点でした。

「西山荘」「筑波山」はロープウェイで登りました。正に海あり山あり滝ありの欲張りな旅でした。

今年には仙台にお住まいの戸村さんが東北の旅を計画中です。ぜひ又元気で仲よしの友

達にお会いしたいです。今度は男性の人達と一緒に仲よく集まりたいです。大木信枝（高14）

ソフトテニス部OB会
越川会長叙勲受章祝賀会
平成十九年一月二十七日



越川会長叙勲受章祝賀会 於：梅田屋

（土）梅田屋にてソフトテニス部OB会（会長越川浩一 高5回）が三十八名参加のもと盛大に開催されました。当日は、秋の叙勲で瑞宝

双光章を受章された越川会長の祝賀会でした。発起人を代表して岩井幸治（高2回）先輩の挨拶に始まり、越川会長の受章記念挨拶、記念品の贈呈、乾杯そして懇親会に移りました。

当日は俳優でもあり、ソフトテニス部OB会員である地井武男（高13回）さんも出席され、自身の近況や会長へのお祝いのことばを述べて頂く等、楽しい一時を過ごしました。又、地井さんが寄贈して下さいました。「ちい散歩」の本を参加者全員に購入して頂き売上金三万六千円をソフトテニス部に寄付させて頂きました。

ソフトテニス部も昨年は二十年ぶりにインターハイ出場、又インドア大会では団体で決勝進出を果たす等久しぶりの快挙を果たしました。

千葉県のごロゴ「ちば」 仲條正義君創る

能勢 浩
(高4)

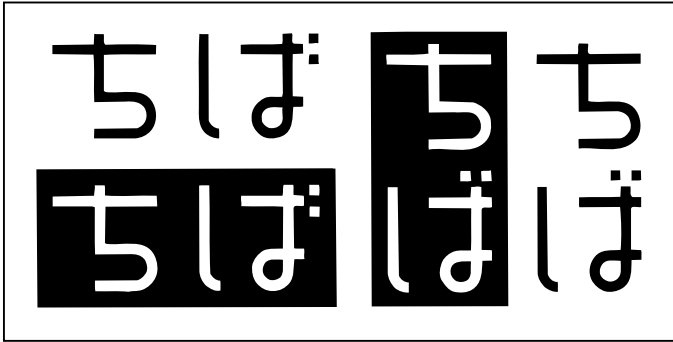
千葉県では今、「観光千葉」を初めとして、国内の企業・人々にだけでなく、国際的にもPRし、来て頂くことを願っています。

その時、千葉のイメージをシンボライズするのがCIEロゴ(CHIBA IDENTITY千葉の独自性を訴える)です。これを作製するのに、匠理高校第4回(昭和27年)卒の仲條正義君が選ばれ、現在2月〜4月にかけてのディスプレイネーション千葉 J Rと県全体のタイアップによる に早速使われています。皆さんも駅に置かれている「ちば・房総発見伝」のパンフレットなどでご存知でしょう。

小生も、偶々、千葉県経営者協会と知事との懇談会の席上で、堂本知事からこのロゴについて聞きました。知事は仲條正義さんが引き受けて下さって嬉しいと語り、また出来上がったあと、千葉県のために一所懸命やってみよう、とても洗練されたデザインになり、垢抜けたロゴを持つこ

とができた、と喜びを語っておられました。

小生も、仲條君と六年間匠中・匠高で一緒であり、匠高の校名碑、八日市場の本町通り商店街、自社のロゴに協力して貰い感謝している旨をお話し、仲條君にはこの件で電話で話していいものを作ってくれるようお願いしました。仲條君の経歴は別掲の通りですが、母校の宇井校長先生



も、学校の封筒などに今後仲條君のロゴを使っていきたいと話されていました。

匠高の坂下の看板、登って西城館の前の校名碑を改めて見直して下さい。校外のレイアウト(配置他)にも仲條君の指導を頂いています。

また、本館四階の匠高ギャラリーに、彼のグラフィックデザイン画があります。

略歴 仲條 正義

一九三三年 東京生まれ。
一九五六年 東京芸術大学美術学部図案科卒業。
資生堂宣伝部、デス力を経て一九六一年(株)仲條デザイン事務所を設立。
資生堂企業文化誌「花椿」、ザ・ギンザのアートディレクション・デザイン、資生堂パラーのロゴ・パッケージデザイン、東京銀座資生堂ビル、ワコールスパイラル、松屋銀座、東京都現代美術館、細見美術館のCI計画などを手がける。ADC会員最高賞、JAGDA第五回電倉賞、TDC会員金賞、毎日デザイン賞、日本宣伝賞山名賞、紫綬褒章、旭日小綬章、などを受賞。

平山 健君(高10) 近々歌集出版

三月初め、中学、高校時代の友人、平山健君から朗報がとどきました。

新風舎出版賞に応募した作品がみとめられ、近く単行本として出版されることになったという知らせです。本のタイトルは「六十になった、私もなりたいたい」です。

彼は、双子の孫娘との出会いをきっかけにして、六十歳にして短歌をつくりはじめ、勉強の場として新聞歌壇の投稿をつづけ、二〇〇〇年に、岡野弘彦選に読売歌壇で選ばれたのです。

抜く車
われは急がず
あわてずに駆る

それ以来七年余、新聞に掲載された短歌のうち約二百首をこの本に収めています。彼は、文芸とは縁のうすい人生の残年に、おくればせながら短歌と出合えた奇遇に手を合わせる思いであると述べています。

歌集の原稿のコピーを読ませていただきましたが、六十代の目線から、人生や社会を見直した斬新な作品で、自分の人生のこれからを考えた歌が胸に染みこんでいます。一緒に歩いてこられた奥様、育つていくお孫さん、老いて逝ってしまったお母様(かつて旭農高で先生をしておられた)作者の周りの人たちを見る優しく、落ちついた「愛」が、読み手の心に響きます。

二十代の宮沢賢治のいうソナモノニ
六十になった私もなりたいたい
この歌が秀逸で、そんな風に考えられる六十歳になりました
と思わせる力があります。
まだまだ元気、でも若いとは言い難い六十代の心境がよく伝わってきて、特に同年代の方々の共感を得ることでしょう。

明日の知れぬ残年を生く
我いまだ
少年のごとき
あこがれをもつ

このように歌う作者だから

こそ、常に新鮮な世界を感じさせる歌を詠み続けることができるのだと思います。「六十になった

私もなりたい」歌集の刊行を心待ちにしています。米本 雅男(高10)

風土と伝統を活かし未来を創造する

愛知県立芸術大学教授 林 英光(高12)



田急ロマンスカー、大江戸線や地下鉄などの車両デザインも手がけて来た。海外の工場のトータルデザインも三例完成させた。そして今は岐阜市駅前広場の再開発と、高原リゾート商業施設のプロジエクトを指導している。

未来への希望に満ちあふれた高校時代から、五十年が経ち、私は今大学を退官する年令になった。

私の専門は環境デザインという、あまり知られていない分野である。都市から自然環境、景観、そして住環境に至る、人を取り巻く暮らしや生活環境全般にわたるデザインの仕事である。

現在、国土交通省中部地方整備局の景観アドバイザーの座長など、都市再開発、街づくり、海岸、道路、公園、橋梁、ダム、モニメント、サイン等のデザイン、時には小

近年故郷に帰ると大変気になることが多い。それは、故郷の原風景が悲惨な状態になっていることである。美しくつた野山、田圃、沼や川、海岸が無秩序な開発や建築物や看板、電柱などで覆われ、混沌とした景観を呈している。

海外に旅行すると日本の景観行政の遅れを実感できる。まず我が国の公共建築が単なる箱ものであつて文化的でないことである。各地で学校建築などに力を入れるところもあるが、未来を背負う子供達のことを考え総合的に取り組む例は未だ少ない。我が国の行政では、物事を総合的視点でとらえ、取り組むトータルデザインと言う思想が欠如しているからでもある。海外の美しい風景や建築、都市環境は、人間を大切にしようとする、たゆまぬ努力の結晶である。「人は美しい環境に住む権利と共に、それを育む義務がある。」そして環境とはチャールズが言ったように「人は環境を創るが、環境は人を創る」大切なものである。今後は故郷の美しい国づくりに是非取り組みたいと思う。

能楽のススメ

林 義光(高14)

高砂やこの浦舟に帆をあげて...は結婚式で一度は聞いたことがあるでしょう。これは能「高砂」の一節です。又、羽衣、鶴亀、弁慶安宅閑、安珍と清姫、序の舞は各種邦楽でも知られ、シテ株、ワキ役、中入り、千秋楽などの語も元は能から出たものです。

私は大学時代、板東声を張り上げ空手に熱中し、身体は鍛えればかくも強くなるものと驚き、争い事は逃げるが勝ちの境地を理解できる迄に

なりました。この頃、謡曲の大学交流会の員数合せに誘われたのが能に触れるキッカケで、「マッスルワーク」に「ブレンワーク」を加味できることが新たな魅力でした。



白水会「翁」 2006.11.20 前列右側(林さん)

●周知の通り二〇〇一年、ユネスコの第一回「無形遺産」に能楽が選ばれた。その理由は、能楽は能と狂言からなり十四世紀に大成、能は謡(うたい)と囃子(はやし)を伴奏に舞(まい)の所作でストリー展開する歌舞伎で、様式化された極めて簡素な表現で、後の歌舞伎(十七世紀)人形浄瑠璃文楽(十八世紀)

現代芸術に大きな影響を与えた日本の代表的伝統芸能ということ。

●現在五つの流派があり、曲目数は二百曲前後(流派で差あり)。主人公は老若男女貴賤都鄙神仏鬼天狗幽霊植物の精と多彩で、文章は七五調を基本に洗練された表現、古典引用(一曲平均十五句)が随所に鏝められた内容の奥深さと音程・リズムを伴う口唱の楽しさがある。

●謡曲は地理、歴史、文学、宗教(山岳、神道、仏教)、社会(人間関係、情愛)、音楽など日本を知るための総合学習課題として最適。若い時に接すれば人生設計、処世法に通じ、長じてから接すれば本当に美しかった日本の原点を再確認して自信と元氣を取り戻せるでしょう。

●青春時代に出合った二つのものの中、空手はかなり前に諦めたが、謡曲は益々興味が増し、現在人間国宝の三川泉先生に四十年に亘り師事し、今も月二回の個人稽古や各地での練習会・発表会に出席し、楽しく、張りのある日々を送っています。

故 氏家次郎先生の 遺作の保存保管を

氏家先生は、匠山高に美術教師として昭和3年から35年まで。本校一筋で勤められました。その後八日市場を中心に芸術文化面での発展に無私の立場で寄与されました。その功績は、多くの芸術分野で活躍する卒業生や、地域の人々がいることで証明されています。

その先生の遺作が今、散逸しそうな状況にあります。そこでご遺族の方の意向もふまえ、多くの方々の協力で、保存保管をしようと八日市場在住の関係者で計画しております。無理のない、自然な形で先生の作品を保存することは、この地域の文化活動の基礎を支えてくださった方への恩返しでもあり、私たちの将来への指針ともなります。くわしくは次号でご案内申し上げます。なにとぞ多くの皆様のご協力を得られるよう、お願い申し上げます。

中川 繁明(高24)
現在、小見川高校美術教諭
H2年から11年間、匠山高美術科教諭

友*人*紹*介

須之内靖子さん(高15)



須之内さん(高15)の前(200号)の絵

須之内さんと私は、幼なじみで現在も変わらぬお付き合いを続けており、高校時代は弓道部員として二年間共に弓道に熱中し、彼女は現在も続けております。

卒業三年後、二年間植草文化服装学院にてデザイン、服飾を勉強し、現在自宅にて自分でデザインした服の縫製をしつつ、絵画制作にも励んでおります。絵画については、S58年に公民館の絵画教室にて、仙波永志先生に師事したのをスタートに、努力の末現在の様な数々の作品を生み出す迄に至り、製作内容も油絵、水彩画、ガラス絵、絵手紙と多種多様です。
上野都美術館での現展ではS61年に初入選をし、以来二十年連続入選、その間会員となりました。

年に一度個展を開催しており、その個展も回を重ねて、昨年で十四回となり、毎年大勢の方々が足を運んで下さっており、会場には絵画と共に彼女のデザインした洋服も展示してあり、別の面でも楽しむ事が出来ます。機会がございましたら、是非足をお運びいただけたいと思います。

最後に、須之内さんより現在の制作状況意見等一言お願いしたいと思っております。

「先輩方に大勢御活躍の方々がいらつしやる中で、私のような者が記事にされるのは、おこがましく恥ずかしい思いです。現在は青板展(上野都美術館)にむけて、M二〇〇号の制作中です。未熟な作品ですが、毎年個展を開催しておりますので、同窓会の皆様方ついでが有りましたら、ご高覧いただけましたら幸いです。」
中川 澄子(高14)

シニアゴルフ大会

”ナイス ショット!!”

二昼夜にわたる荒天も嘘の様なゴルフ日和の十月二十五日。

高十四回卒の当番幹事の下山武グリーンCCにて第六回同窓会シニアゴルフ大会が、百三十名の参加をいただき盛大に開催されました。

関係各位には、準備から大会終了まで、ご指導・ご協力を賜り、お陰様で母校体育部に、金十三万円の助成金を贈呈することができました。又、ご芳志・賞品等も頂戴しました事、重ねて御礼申し上げます。

今回は初の試みとして、ショットガン方式で行った為、



優勝者 佐藤一夫さん(高16)

スタートや昼食時には気ぜわしさをおかけ致しましたが、ご協力のお陰で時間の短縮やスムーズなる運営ができました事深く感謝申し上げます。成績は新ペリア方式により

- 優勝 佐藤一夫(高16)
- 二位 高野宣寿(高15)
- 三位 土屋友幸(高14)

特筆すべきことは、ベストグロスには、参加者中最年長で2回卒の押尾鼎先輩が、ゴルフプレーヤーなら誰でも夢見るエージショットにあと一步という素晴らしい成績で、後輩プレーヤーに驚きと大いなる刺激を与えてくれました。又、九名の参加をいただきました女性の方に於いても、好成績・好プレーの連続で、年々レベルアップされており今後多数のご参加を賜り、大会に花を添えていただきたいと思っております。

大会を通して、同級生のコミュニケーション・同窓生の連帯感・母校発展の願いを大いに深めることができた大変有意義な行事であった事を報告申し上げます。最終十八番ホールはナイスバーディーで締めさせていただきます。

太田安規(高14)

- 須之内靖子経歴
- 1983 仙波永志先生師事
 - 1986 現展初入選
 - 1992 匠美会入会
 - 1993 個展開催
 - 2006 現展会員推挙
 - 2000 青板展会員推挙
- 個展会場
横芝光町 美術館「笑虎」
11月1ヶ月開催

旭中央病院附属看護専門学校 戴帽式挙行

平成18年12月7日、旭中央病院附属看護専門学校で、4月に入学した第44回生の戴帽



式が行われた。
43名の女性生徒が一人ひとり渡辺千恵子副学校長(高18)からナース帽を着けてもらった(男性生徒はナース帽をかぶらない)。

施しはこの二人の想いには冷たく、結局二人の人生は数ヶ月後、歩み出すことなく別れを迎えることになってしまいました。

22歳の新米看護師の私は、正しくない情報下で人生の方向性が変わってしまったてもよいものなのだろうか、ということを考えました。26歳で国保八日市場市民病院(現国保匠瑳市民病院)に移り、「病院で死ぬということ」の著者の山崎章郎先生や仲間達と一緒に八日市場ターミナルケア研究会(現千葉東部ターミナルケア研究会)を作り、病名告知の問題や医療従事者の関わり方、患者さんご本人から出される多くの問題課題を論議しました。今では、告知のことは「すべき」という考え方が主流になってきています

の中央集中化現象、小児科・産科医不在、看護師不足。安心して子供も産めず、早急の救急医療ももしかしたら受けられなかった。老後も住み慣れた我が家で生きることがままならない況下にある。私自身医療の世界にいて大変危機感を感じています。これから色々なスタイルで皆と考えていく場作りをしていきますので、ご参加いただければと思っています。

大木 信子(高29)

同期生に支えられ

私は七年前ロータリークラブ例会の席上、卓話中脳梗塞で倒れ、意識不明三週間、三ヶ月の入院生活を余儀なくされた。

私は昭和四十年代を中心に十数年青年団活動に没頭「青年の生活を高めよう」を合言葉に全国各地をまわりました。その時の仲間達とは今でも交流していますし、私の生きてゆく上での心の支えになっています。

その後の私は、社会との関わりに消極的になり悶々とした生活を送っていた。それを救ってくれたのが同期(高14回)の市東義雄さんでした。

厄高在学中は劣等感の固まりの私でしたが、今母校への思いは人一倍あります。

「今度同窓会京葉支部の設立総会があるので出てこいよ。」と強く誘ってくれました。不安を抱えながら出席すると同

期の皆の温かい対応でした。不安は一掃され、それ以降京葉支部の総会には毎年出席させて頂いております。

伊野 松雄(高14)

今、この地域の

医療情勢は大変!!



が気になったのは、「がんの終末期医療、ケアのあり方」でした。

26歳の結婚を目前にした前途洋々の若者が直腸がんで私の勤める病院に入院し、「良性の腫瘍」の説明の元、手術を受けました。結果根治術とはならず「人口肛門増設術」(お臍の左下あたりの皮膚に大腸を出してそこから排泄物が出る)になってしまいました。彼は嘆き、元の体に戻るまで、彼女に会わないことを一人で決めました。医療の

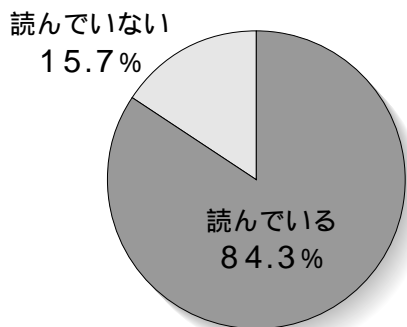
しよつか?、医者離れ、患者

と強く誘ってくれました。不安を抱えながら出席すると同

「同窓さふさ」アンケート結果

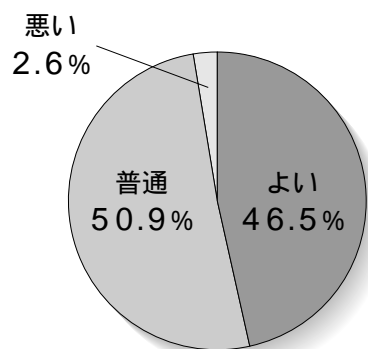
・年2回発行される「同窓さふさ」を読んでいますか？

	人数	割合
回答者	268	
イ 読んでいる	226	84.3 %
(男)	139	61.5 %
(女)	87	38.5 %
ロ 読んでいない	42	15.7 %
(男)	15	35.7 %
(女)	26	61.9 %
(不明)	1	2.4 %



・で「イ」と答えた方にお伺いします。(a)「同窓さふさ」の記事の内容は？

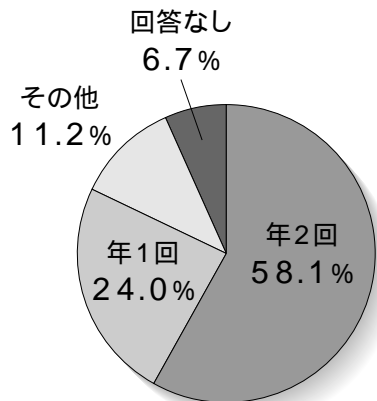
	人数	割合
回答者	230	
イ よい	107	46.5 %
(男)	74	69.2 %
(女)	33	30.8 %
ロ 普通	117	50.9 %
(男)	62	53.0 %
(女)	55	47.0 %
ハ 悪い	6	2.6 %
(男)	5	83.3 %
(女)	0	0 %
(不明)	1	16.7 %



- (b). (a)で「イ」と答えた場合、よい記事の具体的な内容は？ 11ページに記載
- (c). (a)で「ハ」と答えた場合、悪い記事の具体的な内容は？ 11ページに記載
- (d). (a)で「ロ」と答えた場合、要望事項は？ 11ページに記載
- (e). 今後「同窓さふさ」で取り上げてほしい企画は？ 11ページに記載

・現在の発行回数(年2回)は妥当だと思いますか？

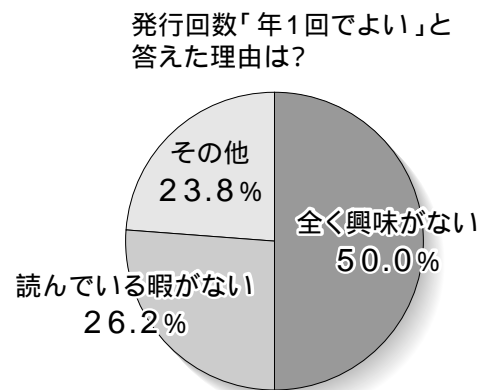
	人数	割合
回答者	267	
イ 年2回でよい	155	58.1 %
(男)	103	66.5 %
(女)	52	33.5 %
ロ 年1回でよい	64	24.0 %
(男)	29	45.3 %
(女)	35	54.7 %
ハ その他(11ページに記載)	30	11.2 %
(男)	11	36.7 %
(女)	19	63.3 %
回答なし	18	6.7 %
(男)	11	61.1 %
(女)	6	33.3 %
(不明)	1	5.6 %



「同窓さふさ」アンケート結果

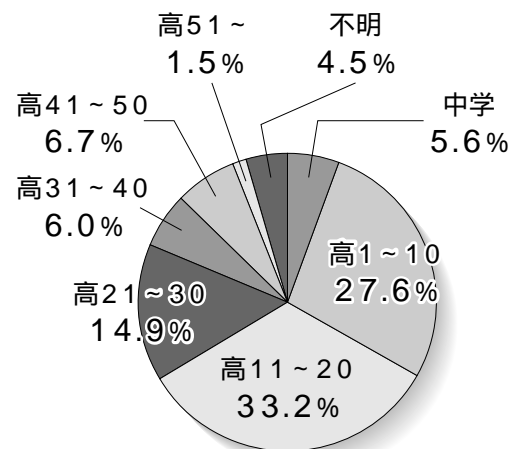
で「口」と答えた方にお伺いします。その理由は？

	人数	割合
回答者	42	
イ 全く興味がない	21	50.0 %
(男)	9	42.9 %
(女)	11	52.4 %
(不明)	1	4.8 %
ロ 読んでいる暇がない	11	26.2 %
(男)	3	27.3 %
(女)	8	72.7 %
ハ その他	10	23.8 %
(男)	4	40.0 %
(女)	6	60.0 %



あなたは何回生？

	人数	割合
回答者	268	
匝瑳中学	15	5.6 %
(男)	15	100.0 %
(女)	0	0 %
匝瑳高校1～10回卒	74	27.6 %
(男)	57	77.0 %
(女)	17	23.0 %
匝瑳高校11～20回卒	89	33.2 %
(男)	52	58.4 %
(女)	37	41.6 %
匝瑳高校21～30回卒	40	14.9 %
(男)	22	55.0 %
(女)	18	45.0 %
匝瑳高校31～40回卒	16	6.0 %
(男)	3	18.8 %
(女)	13	81.3 %
匝瑳高校41～50回卒	18	6.7 %
(男)	5	27.8 %
(女)	12	66.7 %
(不明)	1	5.6 %
匝瑳高校51回卒～	4	1.5 %
(男)	1	25.0 %
(女)	3	75.0 %
不明	12	4.5 %
(男)	0	0 %
(女)	10	83.3 %
(不明)	2	16.7 %



多かった意見
具体的記述から

- (b) よい記事の内容
 - ・ 母校の様子がわかる 34
 - ・ 同窓生の状況がわかる 20
 - ・ 同窓生の情報がわかる 14
 - ・ 同窓生の活躍がわかる 14
 - ・ 品村先生の校史探訪 12
 - ・ 支部の様子がわかる 9
 - ・ 訃報 7
 - ・ 当時の思い出を懐かしく感じられて 6
 - ・ 学校の歩んだ歴史がわかる 5
- (c) 記事の内容が悪い
 - ・ 年齢層の高い人の記事が多く興味がない 2
 - ・ 旧態依然でマンネリ化 2
- (d) 要望事項
 - ・ 若年層の記事・情報を多く 13
 - ・ 堅い印象あり、やわらかく 6
 - ・ 現在の母校の状況 5
 - ・ 匝瑳市・地域の情報 3
 - ・ 現役生徒の状況 4
 - ・ 恩師の近況 4

・ 校史探訪の継続 (以下略) 2

(e) 取り上げてほしい企画

- ・ 活躍している同窓生 16
- ・ 現役生の記事
- ・ 進路・スポーツ・部活 10
- ・ 現在の匝瑳高校の様子、特色、施設、グラウンド等 6
- ・ 恩師の現在 (以下略) 3

アンケート結果

求められる広範の情報とりわけ若年層の記事

前号配布とともに実施したアンケートの結果がまとまった。

回答者が二六八名ということで、少数にとどまったのはさびしいが、寄せられた回答は真剣な意見だったと思われる。

内容的に見ると、同窓さふさに対する好意的な意見が多かったが、少数ながらも厳しい注文もあった。今後じっくり検討し改善の手だてを講じ

て行く予定である。ただすぐにでも出来ることがある。それは、読者である会員の皆さんから、どんな注文をつけていただくことである。

例えば、母校の部はどんな活躍をしているか、年ごとの勤めておられた先生はどうされているか、などと具体的な質問を投げかけていたいただきたいのです。できるだけ対応できるように努力するつもりです。

応援しよう!

夏の高校野球

高校野球夏の大会近し。他県からの選手獲得……等でファンの甲子園離れも言われるが、県大会の2、3回戦あたりは、まだまだ昔からの高校野球の良さが残っている。

同窓生よ、県大会(7月)の応援に行こう。入場料は六〇〇円だ。同窓会長も応援に行く。球場で会いましょう。



同窓会入会式

今年度の同窓会入会式は、全日制が卒業式予行の後、定時制が卒業式終了の後行われ、三四三名が新会員となった。今年から根本会長の指示で、新幹事九名に委嘱状が渡された。

新幹事

- A 齋藤 祐子 旭市
- B 伊藤 俊 匝瑳市
- C 片岡 佑夏 "
- D 山角 裕紀 旭市
- E 林 竜 "
- F 入枝 孝憲 銚子市
- G 遠藤 千鶴 旭市
- H 高橋 淳 匝瑳市
- P 高橋 幸子 旭市

平成19年度新入生

三五一名が入学
四月九日、母校入学式が挙行され、三五一名が入学した。その内訳は次の通りである。

- 普通科 二四六名
- 理数科 四〇名
- 英語科 四一名
- 全日制計 三三七名
- 定時制普通科 一四名
- 合計 三五一名

前号記事訂正

詩「あすなる誓歌」(P6)

(二)フェアウエーでなくてもいんだよ

二打目の夢があるのさ

スライス・フックもどんと

こい

それが若さだヨ!

ビーバあるなる!!

ビーバあるなる!!

あるなる!!

右の太字の一行が脱落していました。

全国定通陸上大会(P13)

本校選手の県大会成績

砲丸投 田尻哲也(優勝)

走幅跳 小沼示和()

野本政裕(三位)

走高跳 家鍋健太(優勝)

小沼示和(二位)

四x100mリレー(優勝)

全国大会では、九番目の記録で決勝進出ならず。

右の太字に訂正します。

ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。

平成18年度進路状況

今春の進路状況

今年の三月本校を巣立っていった卒業生の進路状況をお知らせします。

今年度の卒業生の進路状況の概要は次のようになりまし

国公立大学合格者は、現役四五名、過年度卒一一名の計五六名でした。

現役生の私立大学合格者は延べ五七五名で、短大合格者は三〇名でした。

専門学校合格者は三四名でした。

就職希望者は公務員合格者が八名で、民間企業に一名の就職が決定しています。

国公立大受験者は延べ二〇名で合格者が四五名ですから、合格率は三七・五%になります。昨年度は二五・七%でした。合格延べ数、合格率ともに昨年を上回りました。

理由としては、本校現役生の学力が昨年同様高く、出願についてもクラス担任とよく相談し、実力相応の堅実な出願であったことが考えられます。

二〇〇七年度センター入試は新課程二年目ということで前年より難化することが予想されてきました。結果はその通りで、多くの科目で平均点は下がりました。ベネッセによると、五教科七科目九〇〇

点集計の予想平均点は、文系が五六九点(得点率六三・二%)、昨年度(得点率六三・四%)、昨年度比四三三点減)となつています。特に理系受験生には厳しい入試でした。

このような状況の中で、本校受験生は健闘したといえます。

本校の国公立大合格者四五名のうち文科系(人文学科、社会科学、理数系を除く教育など)が一七名、理科系(理学、工学、農学、保健など)が二八名でした。

全国的に国公立大学への人気は堅調です。ただし受験科目の五(六)教科七科目は、現役生にとって負担が大きいものであることに変わりはありません。

今後とも国公立大学を志望する生徒には、やはり早め早めの受験準備が求められます。

因みに国公立大学現役合格者四五名のうち前期合格者は三七名、後期合格者が五名、中間合格者が一名、公募推薦合格者が一名、AO入試合格者が一名でした。後期試験を廃止する大学が増えていることも影響しているのではなか、早く決めたい」という傾向が本校でも見られます。

私立大学でも延べ合格者数は昨年を九〇名近く上回る好調でした。

難関私大の早・慶・上智は一三名(前年比増五)、M A

RCH(明治、青山学院、立教、中央、法政大学)七二名(前年比増一)、日・東・駒・専(日本、東洋、駒澤、専修大学)一一五名(前年比増三)となつています。

私大入試については、その人気と難易度について二極分化は相変わらずで、大都市圏の有名大学は着実に志願者数を増やしている一方、地方の私立大の多くは昨年より志願者を減らしています。また、

先ほどMARCHというくり方をしましたが、この中でも大学、学科ごとの難易度は広がっており、従来きた感があります。

短大合格者数は三〇名と前年より一三名増え、本校では少し人気を盛り返しています。専門学校は三四名で実際の進学者数は一九名でした。

看護・医療系の人気は一段落し八名、理容・美容で六名の進学と続き

就職は公務員が延べ八名合格し、昨年に続く健闘を見せました。これも高い意識を持った人が早くから十分な準備をして受験した結果です。

新しい年度が始まりました。一年、昨年度の卒業生に負けないう職員・生徒一同努力を続けてまいりたいと思います。

(進路指導部長 塚本雅之)

平成19年4月現在

国公立大学

合格進路先	今年度		昨年度	
	現	浪計	現	浪計
北海道大	1	1		
北教大旭川校			1	1
北教大岩見沢校	1	1		
北教大釧路校			1	1
弘前大			1	1
東北大	1	1	2	
秋田大	1	1	1	
山形大	1	1	2	
福島大	3	1	4	3
茨城大	1	1	4	3
筑波大	2	2	1	1
宇都宮大	1	1	1	1
群馬大	1	1		
埼玉大	1	1	2	4
千葉大	9	10	14	15
電気通信大	3	3	1	1
東京学芸大				
東京工業大	3	3	1	1
横浜国立大	1	1	2	1
新潟大	1	1	1	1
金沢大				
山梨大			1	1
信州大	3	3	1	1
静岡大	1	1	1	1
九州大	1	1	1	1
茨城県立医療大	2	1	3	
群馬健康科学大	2	2		
高崎経大	1	1	1	1
首都大東京			1	1
神奈川保福大			1	1
横浜市立大	4	4	1	1
山梨県立大	1	1		
神戸市看護大			1	1
国公立大合計	45	51	38	47

私立大学

合格進路先	今年度		昨年度		合格進路先	今年度		昨年度	
	現	浪計	現	浪計		現	浪計	現	浪計
国際医療福祉大	12	12	2	3	東海大	10	10	9	3
自治医大			1	1	東京経大	1	1	2	3
獨協大	8	1	9	4	東京工大	5	5	1	1
文教大	11	11	5	5	東京慈恵会医大		1	1	
文京学院大	2	2	3	1	東京女子大	1	1	1	1
明海大	4	4	5	5	東京電機大	6	6	1	3
目白大	3	1	4	2	東京農大	3	3	10	5
神田外語大	21	1	22	20	東京薬大			1	1
淑徳大	10	10	7	7	東京理大	16	3	19	8
城西国際大	4	4	3	3	東邦大	16	5	21	12
聖徳大	9	9	4	4	東洋大	30	4	34	17
千葉工大	28	28	31	2	日本大	44	8	52	32
千葉商大	2	1	3	3	日本社会事業大	1	1		
帝京平成大	6	6	6	3	日本獣医畜産大				1
麗澤大	6	6	10	10	日本女子大	3	3	3	3
和洋女子大	9	9	7	7	法政大	26	3	29	15
千葉科学大	3	2	5	4	武蔵大	3	3	2	1
青山学院大	8	2	10	11	武蔵工大	3	3	5	5
亜細亜大	2	2	4	4	武蔵野音大			1	1
桜美林大	5	5	7	7	武蔵野大	6	1	7	2
大妻女子大	9	9	9	9	明治大	17	5	22	16
学習院大	3	3	1	2	明治学院大	12	3	15	6
北里大	5	5	3	3	明治薬大			1	1
共立女子大	1	1	1	1	立教大	7	1	8	2
杏林大	4	1	5	4	早稲田大	8	6	14	4
国立音大			1	1	東京医療保健大	3	3	2	1
慶応大	4	2	6	4	東京聖栄大	3	3	2	2
国学院大	8	8	2	5	神奈川大	9	2	11	8
国際基督教大			1	1	鎌倉女子大	3	3	5	5
国士舘大	5	5	4	4	同志社大	1	1	1	4
駒澤大	18	2	20	17	立命館大	3	3	3	3
実践女子大	4	4	5	5	関西大	1	1	8	1
芝浦工大	6	6	1	1	その他の私大	31	3	34	37
順天堂大	1	1	2	2	私立大合計	575	70	645	489
上智大	1	1							
昭和女子大	3	1	4	1	防衛医科大学校		1	1	
昭和薬大	2	2	2	2	防衛大学校			1	1
女子栄養大	1	1	1	3	水産大学校	1	1		
成蹊大	3	2	5	2	準大学合計	1	1	2	1
成城大	2	2	2	8					
専修大	23	1	24	17	短大合計	30	30	17	1
大東文化大	19	1	20	13	留学合計	1	1		
殖産大	2	1	3	7	専門学校合計	34	5	39	61
玉川大	2	2	4	1					
中央大	14	4	18	17					
津田塾大	1	1	1	3					
帝京大	9	1	10	4					

就職

公務員合計	8	8	6	6
民間合計	1	1	3	3



校史探訪



1. 新しい息吹

昭和十一年四月五日、田中勝夫校長は着任するや、十一日付を以て生徒の父兄に、次のような趣旨の挨拶文を發した。

先ず創業建設の功労者草野前校長の功績を称え、先日着任した小生は、浅学短才にして甚だ任重くして責務の重大なるを感ずる次第、前校長の残された精神を体し、樹立された校風の下に時代に即応した教育を試み、国家の要求と各位の期待に副う中学校教育に最善の努力を致したい所存につき、前校長にも倍してご理解とご支援を賜りたい。

2. 全校マラソン
四月二十七日放課後、職員生徒全員参加の全校マラソンを実施した。
六月七日 東部五校対抗陸上競技大会に優勝。

七月二十九日 県下中等学校陸上競技大会に初優勝。

九月九日 放課後全校マラソン

3. 夜行軍

九月十八日 剛健旅行と称し午前中休養、午後一時五十分朝礼、二時より四十五分授業、午後四時三十五分放課、行軍準備に入り、三年生以上は午後五時出発、松尾、蓮沼、海岸道路、野手浜經由、帰校
二年生以下は午後十時半出発、新宿、東谷、共興、海岸道路、野手經由、帰校という初の夜行軍であった。

生徒の記録によると、蓮沼村では街路にわざわざ電燈を引き、歓迎の二字が大書され、下の立て札には、匝瑳中学校軍部隊入口の標示が墨黒々と書かれ、その前方には昼を欺く篝火が燃え、国防婦人会の名を肩に掛けた婦人たちが麦湯の接待をしてくれた。
小憩となり一同ホツとすると同時に、この壮大なアーチも道々の電燈もすべて吾人の

為に用意されたものである事を知り心から感謝した。

この温かい厚情の下に吾々は水筒の水をとりかえ、ゲートルを取り、足の手入れをし、仮眠もとつた。同じ国民、県民と雖も、十二時の深更に至る迄起きていて、吾々の為に尽くしてくれる骨折りには、考えるだけでも頭を下げずにはおられなかつた。僕はいつまでも蓮沼村の人々の厚意を忘れないであろう、と宮内覚氏(当時五年生の陸上競技部選手のちに戦死)は書いている。

翌年一月二十四日 県下中等学校長距離競走大会、個人(宇井重夫四年) 団体(宮内覚主将、宇井貞文、押尾輝久、林西松(只一人の三年生)とも優勝、県庁公園で高らかに校歌を歌つた。

三月十二日 今後靴を新調する時は編上靴、ゲートルは従来の海軍式を改め陸軍式の巻脚絆とすると達せられた。
三月十九、二十日 入学者選抜試験(因みに私はこの時の試験を受けた。約二倍の競争率)

4. 健児室の創設

遡つて、玄関横の旧宿直室の利用策として、校長は六月二十九日、生徒父兄に次のように通知した。

今般学校では教育上の見地から旧宿直室を、健児の室と命名し左記要項により生徒を宿泊させることにしたので、ご諒承願いたく通報いたしました。

(1) 目的 母校愛護防衛の精神と奉仕の態度養成。師弟の全面的接触による学習訓練の指導、互助共働の自炊生活による学友相互の和親共同、父母の膝下を離れ父母への感恩再認識等。

(2) 宿泊行事 自炊、自習二時間以上、宿直職員との懇談修養等。
(3) 宿泊人数 三・四・五学年より一名宛 計三名
(4) 宿泊費 米その他漬物などは持参し、調味料薪炭等は学校にてまとめて購入、副食物その他金式拾銭を超えざること。

これにより七月一日より実施、生徒は健児室日誌を記し宿直教員に提出し点検を受けた。最初の試みであつたので

炊事用具、寝具は新調であつたが、大部分の生徒は炊事の経験がなかつたので失敗もあつたが、学校長及び宿泊職員熱心な指導で順調に軌道にのつていった。日夜匪中魂の鍛錬と母校愛護の精神に力強い貢献をした。

健児室の生活は次の如くであつた。

健児室予定時刻表(七月、十月)

午後三時 健児室集合、先生へ挨拶、買い物
四時 炊事開始、食事準備
五時 後片付け、夕食後先生と懇談
七時 神燈点火 学習、入浴

九時 室内整頓、校内巡視
九時半 修養、校訓斉唱、静坐、家郷遙拜、先生に就床挨拶、生徒日誌記入
十時 消燈、就床
午前五時 起床、清掃、拜礼、挨拶、巡視

五時半 奉仕作業、朝食準備、神前供饌、朝食
七時 後片付け、挨拶、健児室日誌記入、提出
七時二十五分 解散

健児日誌 十一月九日(月)

時々晴

宿直 相川周平先生 就床

十時 起床 四時半 宿泊者

三ノ一山本健吾 三ノ二椎名

英夫 三ノ三和田良孝

懇談 先生よりスペイン動

乱と国情、偉人の伝記を読む

こと必要、三年頃が最も大

事であるということ。

最初のこととて親しく先生

と会話することが難しく残念

に思った。

勉強 火曜日には三組とも

英作文があるので、一緒に予

習する。化学は水曜日に試験

があるので計算問題をやる。

漢文の復習をして本日の自習

を終わる。

奉仕 九時より校内巡視

応接室のドア及び地理室の窓

が開いていた以外は異常な

し。

五年の昇降口の戸のネジが

馬鹿になつてゐるから速やか

に直す必要あり。朝本館の窓

を開き、日本庭園の清掃を行

う。 反省

自分達で飯を炊いてしめじ

みと日頃の母の苦勞が察せら

れた。離れて始めて知る父母

兄弟の有難さ。一日でも父母

兄弟の顔を見ないと寂しい気

がした。本日の行動表

三時四十分 買い物

四時十分炊事始め、六時二分

夕食終了、九時入浴、勉強

九時二十七分 校内巡視 十

時懇談 就床 四時半起床

この健児室の制度は生徒指

導上大層有効であり、生徒と

先生との間を信頼と尊敬の中

に結びつけ、上級下級の親和

感、公共物愛護、責任感及び

父母家庭に対する感謝と思ひ

やりの気持ちを培うなど得る

ところ多大であつた。

なお住母家宏さん(中12)

から三年生の時の経験を手紙

でお知らせ下さつたので一部

を紹介します。

本館建設の時、事務室の隣

に造られた教員宿直室は使用

されずに昭和十二年頃には事

務室の倉庫となつてゐた。宿

直室は小使室と新館物理室の

間に建設され、ここは広々と

して先生方は昼休みになると

よく碁将棋などに興じておら

れた。その倉庫を片付けて健

児室として、三年から五年ま

での各一名ずつを宿泊研修に

使つようにしたのである。住

母家さんは三年生として上級

生の指導のもと惣菜を買いに

町に出たり、夕食を一緒に作

りなどした思い出を懐かしく

書いてくれました。又上級生

は勉強、生徒心得などの指導

をなさつたようです。上級生

の記録なども欲しいと思つて

いましたが、残念ながら教え

ていただけにいまま終わつて

しまつた。健児室日誌なども

学校には保管されているの

で、いつか繙いてみようと思

う。

そして創立後日の浅い匣中

が天下の名門校千葉中に十点

もの差を付けて圧勝した県下

中等陸上競技大会、そして連

覇した長距離競走(マラソン)

大会など、まさに輝く青春時

代であつたといえよう。丁度

その頃県下教職員野球大会が

あり、みごとに優勝を飾つた

ことも忘れ得ぬ思い出であり

ます。当時の感動的な歴史の

あともいつか振り返つて記録

してみたいと思つてゐる。

品村 晃祥(中14)

今春の人事異動

退職・全日制

英語 伊藤 陽子(高44)

転任・全日制

教頭 三輪 正光

県立佐倉南高校校長へ

教頭 三辻 昭彦

市立下総中学校教頭へ

英語 内藤 陸奥治

県立佐原白楊高校へ

英語 高根 恒

県立銚子高校へ

数学 夏目 久仁俊

県立布佐高校へ

数学 伊藤 秀幸(高32)

県立東金商業高校へ

理科 加藤 重明

県立佐原高校へ

社会 小川 耕一(高33)

県立四街道北高校へ

主査 鈴木 美津江

県立銚子特別支援学校へ

転任・定時制

教頭 石井 和巳

県立幕張総合高校へ

保体 藤森 良文

県立印旛高校へ

保体臨任講師 高橋 裕一

社会臨任講師 午腸 勲

県立東金高非常勤講師へ

主任調理員 酒井 浩三

県立長生高校定時制へ

嘱託調理員 小山 智江子

県立東金特別支援学校へ

嘱託調理員 八角 敏

轉任・全日制

教頭 中村 道代

県立東金高校より

教頭 猿渡 末治(高26)

市立銚子高校より

英語 宇井 光二

県立松尾高校より

理科 滑川 好昭

県立銚子商業高校より

英語 花澤 貞男

市立銚子高校より

英語 椎名 利弘

市立銚子西高校より

社会 山本 望

県立佐倉南高校より

数学 齋藤 英世

県立九十九里高校より

数学 吉田 浩明

昭和学校秀英高校より

主査 伊藤 京子

県立佐原高校より

轉任・定時制

教頭 石原 修

県教委指導課より

保体 鶴澤 俊男(高26)

県立九十九里高校より

社会 佐藤 正純

市立銚子西高校より

英語臨任 小野 貴則

福島第四中学校より



おめでとくうございます

平成18年秋の叙勲

旭日双光章

元佐原市香取郡医師会長

宇井 恵治さん(中21)

瑞宝双光章

元横芝町教育長

越川 浩一さん(高5)

平成18年千葉県学校

健康教育功労者表彰

江畑 魁さん(高2)

瑞宝双光章

危険業務従事者功労・警察関係

察関係

菊地 俊勝さん(高1)

赤桐 操氏 銚子市名誉市民に

銚子市出身で元参議院副議長

長の赤桐操氏(中11回)が、この度、銚子市名誉市民に推挙された。名誉市民は同市が一九五六年に条例化。母校としても大変名誉なことである。

平成19年

統一地方選挙当選

県議会議員

習志野市

佐藤 正己さん(高11)

船橋市

堀江 はつさん(高14)

匝瑳市

宇野 裕さん(高28)

政令指定都市議会議員

千葉県美浜区

布施 貴良さん(高18)

地井武男さん 絵手紙展を開催

匝瑳市の観光大使を勤める

地井武男さん(高13)が、市

商工会主催、匝瑳市および市

観光協会後援により、絵手紙

展を開催した。

4月12日〜22日の期間、匝

瑳市公民館市民ギャラリーを

会場に、「ちい散歩」で描い

た80枚の絵手紙が展示され

た。

訃報つゞ

品村 晃祥(中14)

昨年10月末より今年3月までの僅か半年の間に五名の級友を失った。

昨年10月25日横芝町の藤代弘

一君が亡くなられ、急遽お通夜

に参上した。受付には小林克巳

君(高19、現松尾高校長)が、

同じ町内の立場で控えておられ

助かった。藤代君とは2・3年

と同じくクラスで、その頃既に東

海道中藤栗毛などを読んでお

り、軽妙なことでユーモラス

な話題を提供していた。鈍感な

私など随分と教えられた。彼は

後に千葉師範学校に進み、優秀

な教員となり小学校長となつ

た。喪主は高19藤代洋一君で当

夜久しぶりにお会いした。

滝田徳滋君は年末の12月21日

に亡くなられたが、お知らせも

なく過ごしていたが、徳島君の

訃報の連絡をした時、奥さんか

ら伺って始めて知った。彼は入

試成績トップの為当時の内規で

3組に入り同じクラスになつ

た。彼も千葉師範学校を卒業し、

後に小学校長となった。いつも

銚子市内の出来事は私に連絡し

てくれていたが、今回誰からも

通知がなく失礼してしまつた。彼も汽車通学だったので5年間同じ列車で登校した。

土屋巨君は2月4日逝去され

山桑のメモリーでの葬儀に参列

したが、14回生の花環は拝辞さ

れて受取ってもらえなかった。

彼も一年三組の仲間で、自宅が

私の母の里と同じ村だったので、よく帰り道に寄ってはお茶

飲み話をしてきた思い出があ

る。彼も千葉師範学校に進み優

秀な教員となった。彼が共興中

学校に勤めている時、陸上競技

部の合宿指導を頼まれ一週間ほ

ど放課後に自転車で共興まで通

い、生徒らと一緒に走ってその

まま泊まり、翌朝はまた匝高へ

出勤した。その甲斐があつたか

どうかはわからないが、共興中

はみごとに都大会で優勝し、私

は高品虎雄校長から感謝され面

目を施した。その時のメンバー

から匝高の陸上部に入り駅伝大

会で活躍した宇野三郎君(高6)

がいた。彼は千葉大学を卒業し

て椿海小学校の校長として私の

村の為に尽くしてくれた。土屋

君は奥さんに先立たれ、お子さ

んもなく晩年はさみしい一人暮

らしてあつた。

徳島秀一君は2月28日ご逝去

の旨、東大の後輩加瀬貞夫君(高11)から電話があり、3月5日中野の宝仙寺の葬儀に参列した。加瀬君から弔辞を呈してくれとの話であつたが私より東大同期の高後武之助君の方が相応しかろうと高後君に電話した

ら、足が悪くて車を押さないと

独り歩き出来ないと思われ、そ

れでは徳島君は私の前の席でそ

の勉強ぶりはよく観察していた

ので、原稿を作り出したところ

奥さんから弔辞は間に合つたと

いう電話であつた。当日は静岡

高校の同級生の弔辞があり、私

の中学時代よりは良かったと思

っている。徳島君はたしか2年

生の時に銚子商業から転校して

こられ、進学コースの4・5年

と同じクラスであつた。このク

ラスは良く勉強するクラスで、

東大を始め、海兵、陸士、医大

など殆どが進学した。

彼は東大教授の推薦で日産化

学株式会社に入り、後に社長に

なつた。同窓会総会にお招きし

て講演をしてもらつたら、すば

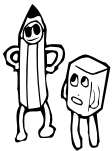
らしい内容に感服した。文化的

教養もあり、匝瑳のことを詠ん

だ岡井隆の短歌などを交えて

の話には驚いたものである。

最後に西川哲君、3月9日肺



癌の為逝去され、私は通夜葬儀の日には、家内と九州旅行の日程が組まれていたので級友20名ほどに訃報の連絡をとり10日に自宅にお伺いし対面をし奥さんにお悔やみを申しあげ、帰路花環の手配をしてきた。哲ちゃん

ことである。この教会の牧師は松原喜七先生で(匣中の英語講師をしておられた。二人のご令息は、純一君、達人君ともに一

春を待たず内田透さん逝く

の愛称で親しまれ、毎年ウラ

高から東大に進んだ英才であった。達人君は陸上競技部の後輩

2月1日、立春もあと2、3日という冬の終わりに、内田透さんが入院先の小見川中央病院で家族に看とられて生涯を閉じられました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

入親睦旅行には20年間一度も欠かさず夫人同伴で参加され、ほとん

息は、純一君、達人君ともに一高から東大に進んだ英才であった。達人君は陸上競技部の後輩

アウンサーになるかと思っ

とに住き友であった。喪主は西川太一君(高19)。彼の父は

筆書きの年賀状の中に、次の歌があった。幼い頃の西川先生の子供らのことを詠まれたもので、その遊びの様が目に浮かぶようである。

2月6日通夜、7日葬儀を旭市東総会館にて執り行われま

弘文社と名のる古本屋で毎月近隣の小学校を回って古本(とい

そのかみの泥んこ遊びのノーちゃん(望君のこと)やタダシは(直君のこと高20)今やいづくにあるか。

内田さんは旧姓菅谷透さんと

つても月遅れ雑誌など皆手つかずの新品であった)を販売して

このかみの泥んこ遊びのノーちゃん(望君のこと)やタダシは(直君のこと高20)今やいづくにあるか。

内田さんが並みいる実によくの政

いた。私など月遅れの少年クラブを一冊拾銭くらいの小遣いで

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんに招かれて、在職中の内田さんが幹事をされていた千葉市の京葉ロータリークラブで何回か講演をしましたが、内

買つのが楽しみで漫画のノラク口や冒険ダン吉、そして敵中横断三百里など数多くの小説などに

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

に接し大いに刺激を受けたと思

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

う。

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

このように相づく訃報に世の無常を感じた次第である。

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

一挙に5人の盟友を亡くしま

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

ことに悲しく、今は只謹んで冥福をお祈りするばかりであ

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

る。

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

この場に一緒に書くことは少し憚られるが、去る1月22日西

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

川宗保先生が亡くなられ、私は

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

おられた田町のキリスト教会の

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

西川先生のことと同じく思い

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

出されたのは、先生の下宿して

な話あまりなさらなかったように思う。私に対する言葉遣いも鄭重で「今何してなさる」とか「一緒にさせていただきま

内田さんが並みいる実によくの政

転載

「匠瑳いちなな会」100(ま)より

終身会費納入者

平成十八年八月二十四日から十九年三月二十日受付まで。

- 〔中二十一回〕 宇井 幹雄 (高十回) 崎山 督千
〔併中一回〕 山中 由江
〔高一回〕 上西 守夫 宮野 明
〔高一回〕 岩井 透 伊藤 昭男
〔高一回〕 石毛 利定 (定昼七回) 境 紘子
〔高一回〕 押田 輝幸 金杉 弘
〔高三回〕 石毛 秀男 原嶋あけみ
〔高四回〕 福島 恒夫 関口 力
〔高四回〕 作佐部榮一 (定昼八回) 林 亨
〔高四回〕 古関 正美 栗栖 孝
〔高五回〕 松中 二郎 (高十三回) 笹本 征子
〔高五回〕 八木 健子 河野 真吾
〔高六回〕 奥田 玲子 伊藤 勝子
〔高六回〕 伊藤 清子 野沢善一郎
〔定昼二回〕 川村 武夫 (高十四回) 秋山 清寿
〔高七回〕 渡辺みつ子 石井 吉有
〔高七回〕 川辺 起雄 須藤 泰正
〔高九回〕 飯田 卓爾 荒木 勝子
〔高九回〕 鎌形 忠五 石田 勝一
〔高九回〕 明楽三子子 伊藤 功
〔高九回〕 若菜恵美子 加瀬 克雄
〔定夜三回〕 加瀬 克雄

- 〔高十六回〕 玉澤 宏 (高二十七回)
〔高十六回〕 大久保久江 (高二十八回)
〔高十七回〕 田村 勝 衛藤 絹子
〔高十七回〕 椎名 多彦 住母家岩夫
〔高十八回〕 高木 一郎
〔高十八回〕 飯田 正行 井戸上美津子
〔高二十一回〕 向後 雅之 齋藤 雅浩
〔高十九回〕 児島 玉井 柴 恵美子
〔高二十四回〕 大竹 正義 林 英雄
〔高二十回〕 宮負 康雄 平山 貴之
〔高二十回〕 田中 克治 徳江 有子
〔高二十六回〕 浪川 健司 押田 正彦
〔高二十七回〕 長島桂恵子 安住 容子
〔高二十八回〕 五頭 秀峰 小泉真由美
〔高二十九回〕 高野 良子 岡田真理子
〔高二十九回〕 山田 越川 山田 久美子
〔高二十四回〕 石井 泉 熊谷 松本
〔高二十四回〕 菅澤理恵子 神谷 幸子
〔定夜十八回〕 菅澤理恵子 今 典江
〔高二十六回〕 伊藤 切子 萩原 紀子
〔高四十一回〕 鈴木 初男 高橋 豊

- 〔高四十七回〕 鶴野 博之 (高四十九回)
〔高四十八回〕 平山 英子 増田 裕行
〔高四十二回〕 林 修三 古川たか子
〔高二十九回〕 大木 信子 土屋 博志
〔高三十回〕 伊藤 正一 椎名 正志
〔高三十一回〕 井戸上美津子 向後 雅之
〔高四十五回〕 越川 泰江 齊藤 健
〔高四十四回〕 鈴木 聡 太田 弓子
〔高五十三回〕 伊藤 一博 戸村 雄一
〔高五十二回〕 鈴木 良則 鈴木 淳史
〔高五十一回〕 鈴木 博之 理恵子 江波戸直美
〔高四十四回〕 鈴木 聡 太田 弓子

年会費納入者

平成十八年八月二十四日から十九年三月二十日受付まで。名前の下の数字は納入していただいた年数を示します。

- 〔高四十六回〕 石毛 恒三郎 5
〔高六回〕 小西 正雄 2
〔定夜一回〕 木村 松雄 3
〔高七回〕 成澤 澄子 2
〔高二十八回〕 小泉真由美
〔高二十九回〕 山田 越川
〔高二十九回〕 山田 久美子
〔高八回〕 佐々木秀子 10
〔高八回〕 森 真義 10
〔高十一回〕 磯部百合子 5
〔定昼四回〕 須川 斌 5
〔定昼八回〕 六沢 信昭 10
〔高十三回〕 鈴木 勝夫 5
〔高四十七回〕 竹蓋 勝子 10
〔高四十九回〕 大木 真澄
〔高五十回〕 鈴木 良則
〔高五十二回〕 鈴木 淳史
〔高五十三回〕 伊藤 一博
〔高五十五回〕 太田 弓子
〔高五十三回〕 戸村 雄一
〔高四十九回〕 佐久間裕子 10
〔高四十四回〕 高柳みよ子 10
〔高五十一回〕 鎌形 寿男 10
〔高五十二回〕 大久保咲子 10
〔高五十三回〕 羽田 貞雄 10
〔高五十五回〕 佐藤 和子 10
〔高五十五回〕 齋藤 光依 1
〔高十六回〕 小平 愛子 10
〔高十六回〕 太田 勝己 10
〔高二十二回〕 醍醐 周子 10
〔高十七回〕 阿部 孝 10
〔高二十三回〕 石井 和朗 10
〔高十一回〕 伊藤 敏雄 5
〔高十回〕 石毛 晴美 10
〔高二十四回〕 大木 紀子 10
〔高二十四回〕 伊藤 友子 10
〔高二十六回〕 浮島三智子 10
〔高二十八回〕 松本 淑美 10
〔高二十八回〕 内藤 和枝 10
〔高二十五回〕 伊藤 和明 1
〔高十回〕 栗田 剛一 10
〔高十一回〕 加藤 治子 10
〔高十九回〕 倉田 静江 10
〔高十九回〕 山本喜美子 10
〔高十三回〕 土屋 俊夫 1
〔高二十回〕 佐藤 鋭介 1
〔高二十回〕 佐藤 絹子 10
〔高十四回〕 齋藤 重子 1
〔高二十九回〕 宇井 照子 1
〔高二十九回〕 大久保隆章 5
〔高二十九回〕 川尻 良子 10
〔高二十回〕 斉藤 明男 1
〔高二十一回〕 新行内米子 10
〔高二十一回〕 滑川ちづ子 10
〔高二十一回〕 小川真砂子 10
〔高二十一回〕 川村 順子 10
〔高二十二回〕 宮内 道子 10
〔高二十二回〕 勝股 良子 5
〔高二十二回〕 日色 一裕 5
〔定夜十六回〕 佐久間 章 5
〔高十七回〕 阿部 孝 10
〔高二十三回〕 白木 幸子 10
〔高二十四回〕 大木 紀子 10
〔高二十四回〕 伊藤 友子 10
〔高二十六回〕 浮島三智子 10
〔高二十八回〕 松本 淑美 10
〔高二十八回〕 内藤 和枝 10
〔高二十五回〕 伊藤 和明 1
〔高十回〕 栗田 剛一 10
〔高十一回〕 加藤 治子 10
〔高十九回〕 倉田 静江 10
〔高十九回〕 山本喜美子 10
〔高十三回〕 土屋 俊夫 1

- 〔高二十八回〕 岡 邦俊 2
〔高二十八回〕 林 秀樹 10
〔高二十回〕 伊藤 秀子 10
〔高四十二回〕 林 朝子 10
〔高二十九回〕 佐藤 裕美 10
〔高二十九回〕 萩原 勉 3
〔高四十四回〕 並木 真子 10
〔高二十回〕 今泉 厚子 10
〔高二十回〕 高橋 孝一 1
〔高二十一回〕 杉本 淳子 5
〔高四十六回〕 来栖 聖一 5
〔高二十二回〕 神尾千鶴子 1
〔高四十七回〕 崎山美智子 5
〔高二十二回〕 斉藤 昭恵 5
〔高二十二回〕 山森 真弓 10
〔高四十八回〕 森 雅昭 10
〔高四十九回〕 飯嶋 知希 5
〔高四十九回〕 大木 直美 5
〔高三十五回〕 河野 真一 1
〔高二十六回〕 高橋 克巳 1
〔高二十七回〕 鈴木 文雄 5
〔高二十七回〕 北林 幸代 3
〔高二十五回〕 竹山 幸代 5
〔高十回〕 小西 邦男 5
〔高二十八回〕 小山 明美 5
〔高四十一回〕 大川信一郎 1
〔高四十一回〕 鶴澤 真弓 10
〔高四十一回〕 安藤 知正 10
〔高四十一回〕 大川 優 1
〔高四十一回〕 森田 貴久 5
〔高四十一回〕 遠藤 正和 1
〔高四十二回〕 洪谷 保幸 10
〔高四十三回〕 石毛 雅和 10
〔高五十二回〕 石毛真紀子 10
〔高五十二回〕 大木 真樹 5
〔高四十五回〕 菅澤美由紀 5
〔高四十五回〕 小沼 高 5
〔高四十六回〕 越川 城大 3
〔高五十三回〕 菅本 薫 1
〔高四十七回〕 山本 江美 10
〔高四十七回〕 石井 久子 3
〔高四十七回〕 林 久美子 10
〔高四十八回〕 香川 穰治 1
〔高四十八回〕 前橋 裕介 5
〔高四十九回〕 飯嶋 知希 5
〔高四十九回〕 安藤 知正 10
〔高四十九回〕 加藤 慎介 1
〔高五十回〕 山口 悦子 1
〔高五十回〕 小沼 康規 5
〔高五十一回〕 石毛 雅和 10
〔高五十二回〕 渡邊 真希 15
〔高五十二回〕 林 真理 5
〔高五十三回〕 福島 隆司 3
〔高五十三回〕 小沼 高 5
〔高五十三回〕 香川 陽平 1
〔高五十三回〕 関 亜希子 1
〔高五十三回〕 清水(庄内) よしの 5
〔高五十三回〕 田中 裕也 5
〔高五十三回〕 中迫 巨樹 10
〔高五十三回〕 稗田 哲也 5
〔高五十三回〕 前橋 裕介 5
〔高五十三回〕 渡邊 由佳 1
〔高五十三回〕 香川 梨沙 1
〔高五十三回〕 加藤 慎介 1
〔高五十三回〕 山口 悦子 1
〔高五十三回〕 小沼 康規 5
〔高五十三回〕 石毛 雅和 10
〔高五十三回〕 渡邊 真希 15
〔高五十三回〕 林 真理 5
〔高五十三回〕 福島 隆司 3
〔高五十三回〕 小沼 高 5
〔高五十三回〕 香川 陽平 1
〔高五十三回〕 関 亜希子 1
〔高五十三回〕 清水(庄内) よしの 5
〔高五十三回〕 田中 裕也 5
〔高五十三回〕 中迫 巨樹 10
〔高五十三回〕 稗田 哲也 5
〔高五十三回〕 前橋 裕介 5
〔高五十三回〕 渡邊 由佳 1

第35号編集委員

- 平山 武彦 (高7)
品村 晃祥 (中14)
綿貫ひろ子 (高8)
米本 雅男 (高10)
馬淵 英夫 (高10)
富澤 汎子 (高11)
川口 克己 (高15)
岩瀬 道治 (高24)
根本 勝弘 (会長/高14)
伊野 松雄 (総務部長/高14)